

一般国道112号 山形南道路に係る新規事業採択時評価

1. 事業概要



図1 広域図



図2 事業位置図

・起終点: 山形県山形市蔵王松ヶ丘 ～山形県山形市西崎
・延長等: 9.0km (第3種第1級、4車線、設計速度80km/h)
・全体事業費: 約740億円
・計画交通量: 約30,700台／日
乗用車 小型貨物 普通貨物 約21,900台／日 約4,000台／日 約4,800台／日

①路線概要

・国道112号は山形県山形市から山形県酒田市に至る延長166キロの主要幹線道路。このうち、山形南道路は、山形県山形市蔵王松ヶ丘から山形県山形市西崎に至る延長9.0キロのバイパス事業

②事業目的

- ・当該道路の整備により、利用交通の分担が図られ、幹線道路の機能を確保するとともに交通の安全性を確保
- ・高次医療機関への安定した搬送ルートを確保し、救急医療活動を支援
- ・山形都市圏南部の円滑な物流ルートを確保し、物流活動を支援

③事業実施に向けた検討状況

- ・山形南道路は上位計画として山形市都市計画マスターplan (H29.3月) に位置づけ
- ・地域課題等をふまえ、計画段階評価 (R3.11月～R5.11月)において以下の政策目標を設定し、ルート構造を検討
 - ①必要な交通容量の確保
 - ②安全な交通環境の確保
 - ③円滑な物流ルートの確保
 - ④安定した救急搬送ルートの確保

2. 評価結果

費用便益分析	■費用便益分析結果(貨幣換算可能な効果のみを金額化し、費用と比較したもの)				
	B/C	(参考)*4	EIRR*1	総費用	総便益
4%	1.6	2.1			850億円*2
[2%]*3	2.5	3.2	6.6%	523億円*2	(参考) 走行時間削減による便益: 249億円 CO2排出削減便益: 1.6億円
[1%]*3	3.1	4.0			(参考) 参考として多様な便益を算出

*1: EIRR: 経済的内部収益率
 *2: 基準年(令和6年)における現在価値を記載(現在価値算出のための社会的割引率: 4%)
 *3: 比較のために参考とするべき便益として設定した社会的割引率
 *4: 参照として多様な便益を算出

事業の影響	評価項目	評価	内容							
			幹線道路の機能確保							
【課題】										
・評価対象範囲は、通過交通と発着交通が混在しており、連続している信号交差点での右折車両などが、直進車両の速度低下の要因となっており、複数の主要渋滞箇所が存在している(図3、図4)										
【効果】										
・利用交通の分担が図られ、交通渋滞が緩和										
○国道112号の混雑度 【現況】1.12 → 【整備後】0.92(約2割改善)										
○評価対象範囲の旅行速度 【現況】24km/h → 【整備後】30km/h(6km/h向上)										
※現況: 令和3年度全国道路・街路交通情勢調査、整備後:将来交通量推計結果(R22)を基に算定										
自動車や歩行者への影響	渋滞対策 (政策目標①)	◎ 	渋滞対策 (政策目標①)							
			内々交通 11% 通過交通 41% 発着交通 48%							
			評価対象範囲は通過交通と発着交通が混在							
事故対策 (政策目標②)	◎ 	◎ 	事故対策 (政策目標②)							
			交通事故の分担が図られ、交通渋滞が緩和することにより、交通の安全性が向上							
			○国道112号の死傷事故率 【現況】104件/億台キロ → 【整備後】85件/億台キロ(約2割減少)							
※現況: イターラー事故データ(R1-R4)、整備後:将来交通量推計結果(R22)を基に算定										
歩行空間	—		歩行空間							
			注目すべき影響はない							
			安定した救急医療活動を支援							
社会全体への影響	住民生活 (政策目標④)	◎ 	住民生活 (政策目標④)							
			安定した救急医療活動を支援							
			○山形市内には、二次、三次救急医療機関が複数立地しているが、交通渋滞により、一般車両が緊急車両の追い越しを阻害(写真1、図7)							
地域経済 (政策目標③)	◎ 	◎ 	円滑な物流活動の支援							
			○山形中央IC付近の物流拠点までの輸送ルート上は交通渋滞により、円滑な輸送の確保が課題(図8、写真2)							
			※現況: 令和3年度全国道路・街路交通情勢調査、整備後:将来交通量推計結果(R22)を基に算定							
災害	○		災害							
			・堆雪幅を考慮した路肩幅員の確保により、緊急車両の通行を支援							
			環境							
環境	○		環境							
			・環境(CO2排出量)の改善 [CO2排出削減便益: 1.6億円]							
			地域社会							
地域社会	○		地域社会							
			・当該事業区間である山形市と周辺市町との連携を深め、生活・産業を支援							
			写真1: 国道348号を通行する緊急車両							
写真1: 国道348号を通行する緊急車両	写真2: (主)山形上山線の交通状況		写真2: (主)山形上山線の交通状況							
			○山形市西消防署周辺から三次救急医療機関への所要時間							
			【現況】16分 → 【整備後】11分(5分短縮)							
写真2: (主)山形上山線の交通状況	写真3: (主)山形上山線の交通内訳		写真3: (主)山形上山線の交通内訳							
			内々交通 11% 通過交通 41% 発着交通 48%							
			評価対象範囲は通過交通と発着交通が混在							
写真3: (主)山形上山線の交通内訳	写真4: 主要渋滞箇所・信号交差点		写真4: 主要渋滞箇所・信号交差点							
			○主要渋滞箇所・信号交差点							
			評価対象範囲は通過交通と発着交通が混在							
写真4: 主要渋滞箇所・信号交差点	写真5: 評価対象範囲の事故類型		写真5: 評価対象範囲の事故類型							
			単路部							
			追突 71% 東北地方平均は57% 約2倍							
写真5: 評価対象範囲の事故類型	写真6: 評価対象範囲の死傷事故率(単路部)		写真6: 評価対象範囲の死傷事故率(単路部)							
			人会車 3% 単会車 0.5% 右折 1%							
			約2倍							
写真6: 評価対象範囲の死傷事故率(単路部)	写真7: 救急医療機関		写真7: 救急医療機関							
			○三次救急医療機関 ○三次救急医療機関							
			○三次救急医療機関 ○三次救急医療機関							
写真7: 救急医療機関	写真8: 物流拠点・物流経路の例		写真8: 物流拠点・物流経路の例							
			R3.10より 物流センター稼働							
			○DID ○工場地図 ○製品工場 ○製品(完成品) ○主要渋滞箇所							

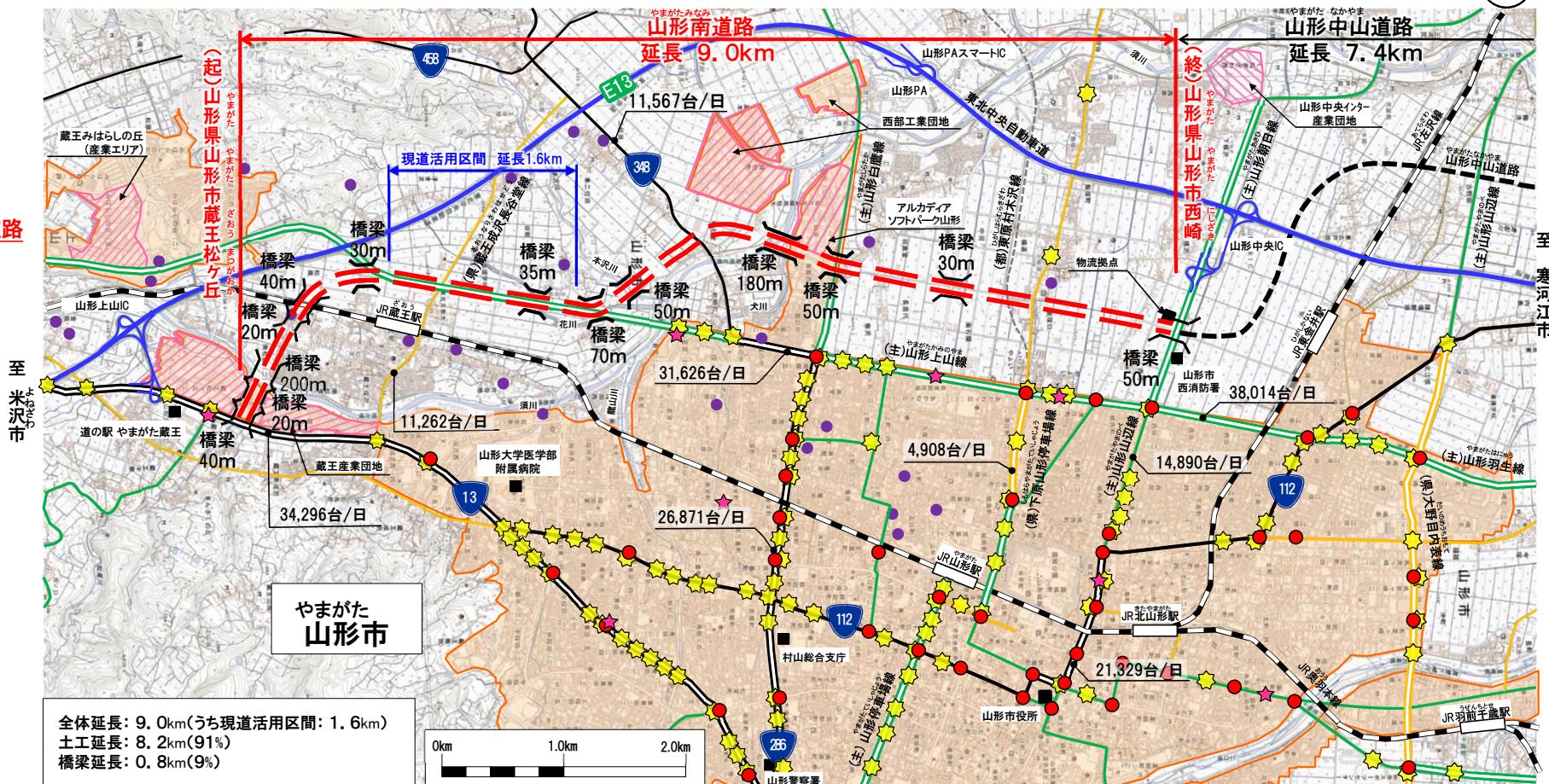
一般国道112号 やまがたみなみ 山形南道路に係る新規事業採択時評価



広域図

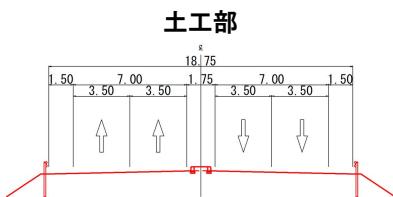


凡 例	
	対象区間
	高速道路
	一般国道
	主要地方道
	一般都道府県道
	構造構造
	主要汚染箇所
	事故危険区間
	死亡事故発生箇所 (R3~R5)
	交通量 (R3 全国道路・ 街路交通情勢調査)
	都市計画用途地域
	工業団地
	主な施設
	神社仏閣・墓地
	車線数 (2車線/4車線)

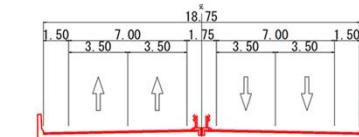


標準横断図

单位(m)



橋梁部



計画縦断図

